

<初冠雪>台風後（19号、14日）の晴れ間に見えた富士山はまだ夏の姿でしたが気温がぐんと下がった16日には一変して頂きに雪を冠り神々しいほどの美しさでした。この一夜での変化を見ると富士に向かって掌を合わせたくなる気持ちの分かるような気がします。



<風ニモマケズ>台風一過の朝にはメタセコイアの葉が沢山落ちていて「風に相当傷められたか」と梢を久しぶりに見上げるきっかけとなりました。とんと気付いていなかったのですが秋がメタセコイアの花の時期だったのですね。しっかりと若い実も付けています。草花たちも元気です。雑木林の入り口には“ツルフジバカマ”が青と紫色の房になった花を咲かせています。銀杏並木では植え込みのツツジの間から“ヤブマメ”があつという間に蔓を伸ばし小さな花をつけています。ところでヤブマメはダイ



<右：メタセコイアの花と実>

ズ（枝豆）を小さくしたような葉と花をしてい



<ツルフジバカマ>



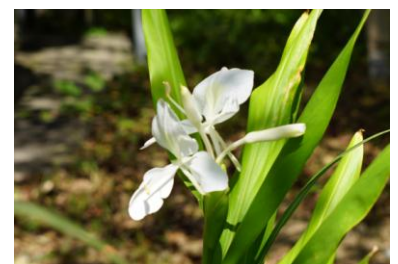
<ヤブマメ>



<フジバカマ>

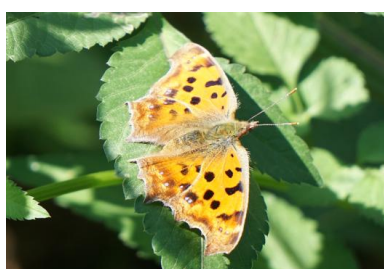
るのでその名はなるほどと思います。しかしビオトープに咲いている“フジバカマ”にツルフジバカマの姿はまるで繋がりません。

<右：ジンジャー・リリー>



<ひっそりと>キャンパスにはたまたまなのかどうか分からない園芸植物が所々に植わっています。今の時期にはとりわけショウガの花が目飛び込んできます。野草でも先に述べたものたちは目立ちます。一方、目立たず咲いている可愛らしい花もあります。その一つが“コシオガマ”です。“シオガマ”は“葉まで（浜で）綺麗”→“塩竈”という“ダジャレ?”で名がついたとのことですがさてさて---

<右：コシオガマ>



<頑張っ>寒くなる前に蛹になって冬を越そうとチョウやガの幼虫はせっせと葉っぱを食べていたのですが台風で吹き飛ばされたものも多いようです。雑木林にはオオミズアオの幼虫が落ちていました。成虫の姿も減りましたがキタテハはま

<左：キタテハ>

だ頑張っています。 (文と写真：松本正勝)